



SSH&国際探究ニュース

SSH & Global Education Reports

佐賀大学研究施設見学を実施しました！

9月9日（水）、化学部の生徒を主とした1年生2名と2年生5名が佐賀大学研究施設見学に参加しました。本校が推進する「Science of Well-being」の実現に向け、日常を豊かにするライフサイエンス領域の理解を深めることを目的に実施された本行事。当日は本庄キャンパスにてコスメティックサイエンス学環の徳留嘉寛教授による講義を受け、最先端の化粧品科学に触れました。さらに鍋島キャンパスへと移動し、医学部社会医学講座環境医学分野の松本明子教授や高島賢客員研究員のもとで研究室や遺伝子解析現場を拝観。最前線の研究現場に直接触れることで知見を広げ、生徒一人ひとりの探究的な学びをさらに深化させる実りある一日となりました。参加した生徒の感想をご紹介します！



～AM・佐賀大学(本庄キャンパス)

コスメティックサイエンス学環～

参加者の声

佐賀大学コスメティックサイエンス学環の徳留先生は一貫して、ご自身にとってよりよい実験環境や設備をそろえるために積極的に活動されているように見受けられました。佐賀をはじめとしたコスメティックの精力的な振興を行うお姿に圧倒されました。僕は高校という限られた環境下で探究を行っていますが、その環境に多くを求めるのではなく、その場を活用し、必要なものは自分で獲得する行動力が大事なのだと痛感しました。また、先生にアイデアの出し方を伺った際、「『自分の軸』、自分の強みに新しいものを足すこと」が必要だと答えてらっしゃった姿が印象的でした。私は周りの人のアイデアに賛同しがちで軸がないとすることがあるため、今後はただ良いアイデアに付和雷同するのではなく、発想力や海外交流への積極性など、育てている自分の強みや経験を組み合わせ、自分にしか出せない唯一無二の発想をしていきたいと思いました。最後に、またとない機会を設けてくださった佐賀大学の皆様、この度は貴重な体験をありがとうございました！

～PM・佐賀大学(鍋島キャンパス)

医学部医学科社会医学講座～

参加者の声

医学部の中での学びというと、少し硬い空間なのかと思っていましたが、授業の資料としてマンガを使った熱中症のシミュレーション実習を行ったり、実際に学生の方が患者役になって重症度を判断したりなど、暖かく面白い雰囲気です。授業を受けさせていただけてとても楽しかったです。

お酒の分解に関する遺伝子検査も体験しました。自分はお酒に強いのかどうか、ずっと気になっていたのがこの機会に知ることができて嬉しかったです。頬の内側の粘膜を採取して、試薬を混ぜて遠心分離にかけただけ、という、思っていた以上に単純な操作で検査できるということに驚きました。遺伝子の違いが身近な体質にも関係していることも実感しました。今回の見学を通して、身近なものを科学的に見る面白さを知ることができました。私もこれから、自分の身近な疑問や興味から研究につなげていきたいと思っています。

